

むらの 話 題



地域の話題をお待ちしています
(広報係 ☎ 885-0340 内線205)

美浦中学校科学部 本田記念財団表彰式で成果発表

2月10日、土浦市のホテルLAUBE(ローブ)にて、公益財団法人本田記念財団表彰式が行われました。本田記念財団表彰は、霞ヶ浦や流域河川の環境改善を目的とした研究に取り組んでいる団体に贈られるもので、美浦村からは安中小、大谷小、美浦中学校が表彰を受けました。また、式典内で行われる成果発表に、中学校受賞校13校の中から美浦中学校科学部が2年連続で選出されました。

美浦中学校科学部は「水質の変化の要因をさぐる」というテーマで研究を行い、堂々とした発表に会場の皆さんから大きな拍手が送られました。表彰された皆さん、おめでとうございます。

【他受賞校テーマ】

- ・安中小学校 「学んだことを自分の言葉で分析したりまとめたりできる総合的な学習の在り方」くらりと水における体験や調査活動などを通して」
- ・大谷小学校 「水質の変化と生態系の関係を探る研究」霞ヶ浦と流入河川の水質及び実態調査を通して」



発表に臨む美浦中学校科学部

稲敷エリア広域バス開通式



2月4日、あみプレミアム・アウトレットバス停にて、関係者約40名出席のもと「稲敷エリア広域バス」の開通式が行われました。

稲敷エリア広域バスは、マイカーなしでも安心して暮らせる社会を目指し、茨城県・美浦村・龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市・阿見町が共同で実施する事業です。平成30年3月までの間、稲敷市～ひたち野うしく駅間、美浦村～竜ヶ崎駅間を縦横に結ぶ路線バスを実証運行していますので、利用してみてはいかがでしょうか。

スキー教室を開催しました



心配されていた雪不足が解消し、絶好のスキー日和の中、福島県たかつえスキー場にて1月20日～21日に親子スキー教室、2月4日～5日にジュニアスキー教室が開催されました。

親子スキーは小中学生とそのご家族、ジュニアスキーは小学3年生から6年生を対象に毎年開催。両教室とも28名の参加者がありました。教室では村体育協会スキー部の皆さんから、参加者それぞれのレベルに応じた丁寧な指導を受け、一人ひとりが上達を実感し、滑走を楽しんでいました。

春の全国大会へ!



平成28年11月27日、「全国小学生大会茨城県予選会」が神栖市海浜運動公園で行われ、美浦ジュニアソフトテニススポーツ少年団が優秀な成績を収めました。5年男子の部で松本和希・矢崎康介ペアが優勝、5年生女子の部で小泉優希・赤井琴音ペアが第3位、4年生以下男子の部で来栖怜士・加藤心温ペアが準優勝と大健闘。県代表として春の全国小学生大会への出場が決定しました。また、4年生以下女子の部では高橋友菜・田山美那ペア、小澤杏奈・奥野姫菜ペアもベスト8で能登大会への代表派遣が決定。練習の成果が発揮されましたね。

《小学1～6年生の団員募集》

美浦ジュニアソフトテニススポーツ少年団(小柳まで)
☎ 0901104814315

美浦中チーム

郷土検定優秀賞!



2月4日、茨城県立県民文化センター(水戸市)にて「第4回いばらきっ子郷土検定県大会」が開催され、美浦中学校の校内予選を勝ち抜いた5名の選手が出場しました。

この大会は、中学2年生を対象に茨城県の伝統や文化等を学ぶことを目的として開催され、各市町村の代表等計45校により記述問題や早押し問題で郷土の知識を競うものです。

美浦中チームは見事に準決勝へ進出。大接戦の末、惜しくも決勝進出を逃しましたが優秀賞を受賞し、プロレスラーの蝶野正洋さんより記念のトクフィーの贈呈を受けました。

昨年の敢闘賞に続いての受賞により、美浦中生の郷土に対する見識の深さが示された結果となりました。

鴨田氏・遠井氏に功労者表彰



《遠井宮子氏》 《鴨田福也氏》

2月16日、茨城県市町村会館(水戸市)において「町村自治功労者表彰式」が行われ、鴨田福也氏と遠井宮子氏が、村の振興・発展に貢献した民間自治功労者として茨城県町村会から表彰されました。

鴨田さんは子育て支援等のボランティア活動で、遠井さんは女性行政推進活動等で長年にわたり活躍されており、その多大な功績が認められたものです。このたびの受賞、おめでとございます。

選挙管理委員会に 総務大臣表彰



美浦村選挙管理委員の皆さん

平成28年12月6日付で、美浦村選挙管理委員会が総務大臣より表彰を受けました。

これは、村選挙管理委員会が、平成28年7月に実施された「第24回参議院議員通常選挙」において一致協力し、選挙の適正な管理執行および明るい選挙の推進に尽力したことが評価されたものです。このたびの受賞、おめでとございます。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 題「初・春」一字以上詠み込み有季無季随意

シャツの口紅初犯と許す嫁が握った主導権
化粧回しに春の香添えて決める雲竜土俵入り
人も草木も三寒四温耐えりや花咲く春が来る
いつも青春若さに溢れ老いを知らない俚謡仲間
齡重ねて今でも想う父母のぬくもり故郷の初春
郷土力士が初場所所制し夢の横綱土俵入り
感謝心に幾年春をついに横綱稀勢の里
初の優勝新横綱の威風堂々土俵入り
酸いも甘いも春めく水にとける二人の胸の内
春を彩る花にも負けぬ才女熟女の日和華
背負う荷物の重さに耐えて冬を越えれば見える春
網に向かつて稀勢関ついに意地と努力を見せた初春
三つ五つの幼い児らが歌舞伎見え切る初舞台
歳の数だけ食べれぬけれど福茶ほっこりあすは立春
アララちよい待て我が友ニヤンコ自信あるんだ初レシビ
春の訪れ感じる香り枝にちらほら可憐花
初の優勝飾って決めた待った横綱稀勢の里
歳をとつたら女が多いこんなモテるの初めてよ
二月の俳句(題 当季雑詠)
幟旗打ち合ふ風も一の午
老ひの手にこぼして咲かすひなあられ
遅咲きの稀勢の里にも桜咲く
免許証返納の姉老いの春
立春に五臓六腑もうきうきす
立春やトランプ嵐吹きすさぶ
バツサリと伐られしバラの芽吹きかな
青き踏む転びて起きず見る左右
「待ってたよ」 國中稀勢の初優勝
白足袋の猛烈ダッシュ発車ベル
独り居に寒さが凍みる夜更かな

山崎笑子
飯塚筑風
田島草実
伊藤葉子
門脇悠美
石戸葎華
沼寄朋香
小池きよし
篠原美千代
高橋一步
長谷川悦子
小蘭江久美
関根秀子
塚本夏雲
山口老路
木村幸子
上野八千代
武田かずお
(五十音順)
青野安佐子
石毛恵美子
海道民子
木澤はしめ
高柳幸子
田島早苗
中島輝子
松葉よしの
松本秀子
宮崎きみ枝
矢原はつひ